



No.28

平成23年8月1日発行

# 南あわじ市

## 議会だより



### みんなで支える地域防災

(7月10日、南あわじ市消防操法大会)

#### 主な内容

- 6月定例会の結果……………2～6
- 一般質問……………8～12
- 委員会レポート……………13～15

編集 南あわじ市議会広報広聴特別委員会

発行 南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27

TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105 E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>



補正予算による主な事業

- 災害対策費 1,450万円
①災害支援関係 (南三陸町への人的支援、救援物資) 680万円
②防災対策関係 (津波対策)
・避難路整備 300万円
・津波避難マニュアル策定等 340万円
・福良地区指揮所の整備 100万円
③防災意識の向上及びリーダー育成 30万円
緊急ため池整備工事費 6,500万円
生活交通ネットワーク計画及び実施計画策定業務委託料 500万円
グループホーム等
新規開設サポート事業補助金 402万円



▲定例会風景

第38回南あわじ市議会定例会日程

- 6月6日 定例会第1日 (議案上程ほか)
" 10日 " 第2日 (一般質問)
" 13日 " 第3日 (一般質問)
" 20日 総務常任委員会 (議案審査)
" 21日 文教厚生常任委員会 (議案審査)
" 22日 産業建設常任委員会 (所管事務調査)
" 24日 定例会第4日 (採決ほか)



▲3月11日の東日本大震災で被災した宮城県南三陸町

第38回南あわじ市議会定例会が6月6日～24日の会期で開かれ、災害対策関連の事業を盛り込んだ一般会計補正予算案など市長提案の議案が10件上程。また請願1件、議員提案2件が上程。これらは所管の委員会で審査され、すべての議案が賛成多数で可決されました。(議員提案と人事案件議案は委員会付託なし)
議案と審議内容、採決の結果をお知らせします。

南海地震への備えは？

災害対策、避難路整備を重視

23年度一般会計補正予算(第1号)

議案内容

災害対策費、緊急ため池整備事業等により、現予算額に1億9551万円を追加し歳入歳出の総額を240億951万円とする。別表(3ページ)参照。

主な質疑

▼避難路整備

問 避難路整備の進め方は。
答 市が事業主体となり、用地取得等が伴なうルートには測量調査委託料を計上している。また、地元自治会において避難路にスロープ、手すり等を設置するための補助金も追加している。

問 地域の自主防災組織と連携を図って、そ

して配布する。
問 現在の福良の津波想定高5.3m、第1波到達まで41分を見直して避難マップをつくるのか。また、いつ配布するのか。
答 東日本大震災を受けて今後、国、県も見直しを行う。県は秋にも暫定的に見込まれる数値を出すので、その数値を用いて避難経路及び一時避難場所を地

の声を十分反映して欲しい。
問 今回の震災で一時避難場所の見直しも含めて、いち早く地域の高台に避難できるように整備を地元と検討しながら進めたい。
▼避難マニュアル
問 津波避難マニュアル策定委託料で作成さ



▲避難路の整備(福良)

る避難マップは自治会単位で作成するのか。
答 現在、学習会を兼ねて避難場所及び避難経路について地元と協議しているが、今後、県の「人と防災未来センター」の協力も得ながら一次避難場所及び各家庭からの避難経路について避難マップを作成し単位自治会を通

域指定したマップを作成し配布したい。
▼福良地区指揮所の整備
問 拠点避難所にもなっている福良小学校に新たに指揮所を設置すれば、混乱を招くのではないか。
答 南淡地域の現地対策本部は文化体育館であるが、福良湾全体が見渡せ情報収集できる福良地区の指揮所として、福良小学校3階の空き教室を利用するが、避難所運営とは切り離し、指揮所は独立させる。

▼南三陸町への職員派遣費用
問 職員派遣の状況は。
答 関西広域連合、県からの要請で南三陸町へ派遣している。6月18日までに20人を派遣した。現地の仕事は一部の部署を除いてはある程度落ち着いてきており、派遣の総勢も減少しているが、今後も短期派遣の継続を予定している。補正予算計上であり、県からの要請があれば派遣する。

▼グループホーム等新規開設サポート事業補助金
問 事業内容は。
答 グループホーム等に必要の備品や消防設備・緊急通報装置等の設置費用を補助する。今回はYAMAYAハウス、現在建設中の円行寺ハウス(仮称)及びフローラなんだんの3施設にあてる。



福良地区指揮所を整備する福良小学校
問 職員の状況は。
答 関西広域連合、県からの要請で南三陸町へ派遣している。6月18日までに20人を派遣した。現地の仕事は一部の部署を除いてはある程度落ち着いてきており、派遣の総勢も減少しているが、今後も短期派遣の継続を予定している。補正予算計上であり、県からの要請があれば派遣する。

▼福祉医療システム
問 福祉医療システム改修委託料(350万





▲南あわじ市コミュニティバス「らんらんバス」

# 委員の公募は？



▼議案内容  
地域の実情に対応した地域公共交通の確保、維持、改善のためのネットワーク計画策定のための検討委員会設置条例の制定。  
▽委員会の所掌事務  
地域公共交通の確保、維持、改善を図るための取組み計画の策定。  
▽委員  
委員30人以内で組織。地域の公共交通の改善に識見を有するものを市長が委嘱。任期2年。

## 公共交通計画策定の組織設置

### 地域公共交通検討委員会条例

保、維持、改善を図るための取組み計画の策定。  
▽委員  
委員30人以内で組織。地域の公共交通の改善に識見を有するものを市長が委嘱。任期2年。

委員が各種団体の代表であっても、会議で意見を述べるときには自分の組織の中で十分話し合いがないまま、代表個人の意見になってしまっていないか。  
答 委員はそれぞれ組織の代表であること、会議で意見を述べるときには自分の組織の中で十分話し合いがないまま、代表個人の意見になってしまっていないか。

▼主な質疑  
問 委員の公募がされていない。何人かを公募できないか。  
答 公募制が理想であるが委員会、審議会等によつては、その事業に関する利害関係もあってくる可能性がある。また、公募により、地域性、年代、性別の重なりが避けられない。今後は、委員の公募については庁内の各部署で検討していきたい。  
問 委員が各種団体の代表であっても、会議で意見を述べるときには自分の組織の中で十分話し合いがないまま、代表個人の意見になってしまっていないか。  
答 委員はそれぞれ組織の代表であること、会議で意見を述べるときには自分の組織の中で十分話し合いがないまま、代表個人の意見になってしまっていないか。

## 損害賠償額の決定の専決処分

### 議案内容

23年3月2日の淡路ファームパークイングリンドの丘敷地内における雑木伐採、枝打ち作業中に通行車両の天井部損傷。賠償額45万2550円。

### 決定の専決処分

防止を徹底するように申し入れているにもかかわらず、同様の事故が繰り返されることに對し、嚴重注意と再発防止策を講じる旨の意見が多数出された。

### 議決結果

承認

再三にわたって事故

## リサイクルセンター 指定管理者制度導入に向けて リサイクルセンター条例の改正

### 議案内容

指定管理者制度導入に向けて、リサイクルセンターへの持込の利便性を向上させること、また、収入として収受させることができる条項追加。

### 主な質疑

問 指定管理にするメリットは。  
答 経費の抑制、管理運営の効率化が図れる。現在、緊急雇用3人、臨時雇用5人と市担当者2人が関わって業務を行っているが、指定管理により臨時雇用者数の見直しができる。また市の窓口を通じて行っているが、指定管理により軒先収集も直接対応が可能となり、市民満足度の向上につながる。

### 議決結果

賛成多数で原案可決



▲中央リサイクルセンター(複列上層多)

## 議員提案 国に意見書を送付 「災害対策の強化を求める意見書」

### 提出者

議会運営委員長 小島 一

### 議案内容

- ① 東海、東南海、南海地震の調査観測体制の整備、地域防災拠点の確保のための支援の強化とともに総合的な地震対策の充実・強化。
- ② 海岸及び湾岸の水防施設、堤防等の総点検の速やかな実施と整備。
- ③ 高齢者等の要援護者への対策マニュアル整備のための国の支援。
- ④ 被災者生活再建支援法の充実・強化。
- ⑤ 第三者機関による原子力発電所の機器の健全性や断層評価などを含んだ立地性の

### 議決結果

賛成多数で可決  
※国へ意見書を送付しました。



問 計画策定理由は。 答 現行のコミュニティバスの計画が平成24年度末に終了した後に、国の補助を受ける場合は計画期間3年以上の生活交通ネットワーク計画を作成する必要があるため。  
議決結果  
賛成多数で原案可決

### ため池整備

問 県単独緊急ため池整備工事が当初予算でなく6月補正で計上された理由は。

### 食の拠点づくり

問 食の拠点づくり推進事業(補助金100万円)について。  
答 4月から農林振興課に食の拠点係を設置し、本年度は、農協、酪農、水産及び商工関係などの各種団体とワーキングチームを結成し、今後の南あわじ市の豊かな食材を活かすことができる食の拠点施設としての、直販所、レストラン、体験施設、加工施設等について調査研究する。このための講師謝金、視察経費等を計上している。

問 市内にはため池が約2500か所あるが、小規模で危険なため池改修の補助事業がなかった。しかし今回、県が緊急に防災対策を強化したために予算が付いた。事業には地元からの申請が必要で、本年度は17か所程度予定しているが、申し込みが多ければ次年度以降も継続したい。

### 生活交通ネットワーク計画及び実施計画策定業務委託料

問 計画策定理由は。 答 現行のコミュニティバスの計画が平成24年度末に終了した後に、国の補助を受ける場合は計画期間3年以上の生活交通ネットワーク計画を作成する必要があるため。

### 議決結果

賛成多数で原案可決

### 修正案要旨

①委員の総数の10分の1以上、10分の5以下の委員を市民から公募、選挙された者とする。選挙手続き等は市長が別に定める。  
②委員会は原則公開とする。

### 修正動議

蛭子 智彦  
長船 吉博  
印部 久信

### 議決結果

修正案は賛成少数で否決。原案、賛成多数で可決



議員として20年にわたり、卓越した識見とたゆまぬ郷土愛をもって、住民福祉の向上、まちの活性化に貢献されています。特に旧南淡町時代には4年間、議長を務め、議会の機能強化と住民に開かれた議会づくりに尽力。南あわじ市議会でも1年間議長を務め、豊かな経験と沈着冷静な判断力で円滑な議会運営を図りました。



**兵庫県 功労者表彰**  
**■自治功労**  
 北村利夫 議員

地方自治の発展に貢献  
**3氏に表彰**

**全国市議会 議長会表彰**  
 永年議員として在職し、地方自治の発展に寄与された次の方々に表彰が贈られました。



**■在職15年以上**  
 蓮池洋美 議員



**■在職10年以上**  
 楠和廣 議員

「政務調査費」22年度分 実績報告

政務調査費は、議員の審議能力及び政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、1人あたり年間15万円（月額12,500円×12カ月）として、会派に交付しています。

22年度の実績一覧表は下記のとおりです。詳細は市ホームページ、または閲覧用書類（議会事務局に設置）をご覧ください。

会派名 (人数)	交付額	執行額									残額
		計	研究・ 研修費	調査 旅費	広報費	広聴費	資料 作成費	資料 購入費	事務費	その他 の経費	
正道・無所属 クラブ (6人)	900,000	773,656	0	544,645	0	0	0	102,700	94,811	31,500	126,344
ゆづるは クラブ (6人)	900,000	870,578	80,000	413,886	10,000	139,168	0	171,050	24,974	31,500	29,422
市民連合・ 無所属クラブ (5人)	750,000	749,903	2,400	454,789	155,295	0	0	97,930	7,989	31,500	97
公明党 (1人)	150,000	120,710	0	89,210	0	0	0	0	0	31,500	29,290
南あわじ市 日本共産党 (1人)	150,000	150,078	12,400	0	0	0	0	135,081	2,297	300	0
計	2,850,000	2,664,925	94,800	1,502,530	165,295	139,168	0	506,761	130,071	126,300	185,153

注) 交付申請のない会派には交付していません。使われなかった残金は市に返納されます。交付額を超えた分は支給していません。

**「30人以下学級実現、義務教育費 国庫負担制度拡充を求める意見書」**

**■請願者**  
 兵庫県教職員組合  
 三原支部長 眞野 広明

**■紹介議員**  
 森上 祐治

**■主な質疑**  
**問** 毎年、同様の請願書を出されているが、その効果は。

**■議案内容**  
 課税限度額引き上げの政令改正に伴う条例改正。  
 ▽基礎課税額 50万円→51万円  
 ▽後期高齢者課税額 13万円→14万円

**■議案内容**  
 ▽介護保険課税額 10万円→12万円  
 ▽課税限度額の総額 73万円→77万円

**■主な質疑**  
**問** 国の方針として、協会けんぽの課税限度額の総額93万円までの

**■請願者**  
 本年度4月より小学校1年生の学級編成標準40人が35人に法改正された。

**■請願以外の取り組み**  
 周知活動や署名活動も行っている。

**■議決結果**  
 賛成多数で採択

※採択を受け、文教厚生常任委員長の発案で「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書」の議案を提出。採決の結果、賛成多数で原案可決。国へ意見書を送付しました。

人学級が順次年次を追って中学校3年まで拡大される予定。保護者の意向や、少人数学級として望ましい30人以下学級の実現を目指したい。

**■議決結果**  
 賛成多数で採択

引き上げは、今後も継続されるのか。  
**■討 論**  
 反対 蛭子智彦  
 賛成 久米啓右  
**■議決結果**  
 賛成多数で原案可決

**国保税課税限度額を引き上げ 国民健康保険税条例の改正**

**■議案内容**  
 課税限度額引き上げの政令改正に伴う条例改正。  
 ▽基礎課税額 50万円→51万円  
 ▽後期高齢者課税額 13万円→14万円

**■議案内容**  
 ▽介護保険課税額 10万円→12万円  
 ▽課税限度額の総額 73万円→77万円

**■主な質疑**  
**問** 国の方針として、協会けんぽの課税限度額の総額93万円までの

引き上げは、今後も継続されるのか。  
**■討 論**  
 反対 蛭子智彦  
 賛成 久米啓右  
**■議決結果**  
 賛成多数で原案可決

**物品売買契約**

**ケーブルテレビ**

**■議案内容**  
 新規加入者用及び故障交換用にIP告知端末500台の購入。契約金額2520万円。契約先II富士通ネットワークソリューションズ(株)

**■主な質疑**  
**問** 購入の理由は。  
**答** 故障交換用及び新規加入者用。21年度は新規246件。故障交換年間100件程度ある。

**■議決結果**  
 賛成多数で原案可決



▶IP告知端末

**消防機材**

**■議案内容**  
 神道分団II小型動力ポンプ用積載車1台、西淡志知分団II小型動力ポンプ付積載車5台、北阿万第2分団第2部II同1台。合計II小型動力ポンプ6台、小型動力ポンプ用積載車7台。契約金額2163万円。契約先II徳島ポンプ(株)

**■議決結果**  
 賛成多数で原案可決

**市職員の互助共済制度の条例改正**

**■議案内容**  
 財団法人兵庫県町村職員互助会が一般財団法人兵庫県町村職員互助会に名称変更に伴う改正。

**■議決結果**  
 賛成多数で原案可決

**人事案件**

**同意**

**福良財産区管理委員**  
 堀越輝男  
 佐藤富夫  
 桐原福一  
 長濱幸司  
 岸光市  
 福榮茂之  
 飛田実

**北阿万財産区管理委員**

豊田米市  
 阿部勝海  
 春木正五郎  
 木田泰博  
 西山一幸  
 仲山勝己  
 谷和代(神代)  
 坂口康子(福良)

**推薦**

**農業委員会委員**  
 廣地智治(広田)  
 伊吹榮子(松帆)  
 谷和代(神代)  
 坂口康子(福良)





正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員

防災について

問 避難経路等整備費補助金交付要綱とは。
総務部長 比較的小さな避難経路整備を支援する。
問 福良の非常に狭い道路にも適応可能か。
総務部長 4カ所の補助実績がある。スロープ化、手すり取り付けにも対応可能。
問 弱者対策を含め、引き続き力を入れて頂きたい。
問 現地対策本部(指揮所)を福良小学校に設置するねらいは。
総務部長 福良地域の状況把握が可能と

なる。今回補正で調査費を計上した。
問 ハザードマップの見直しは。
総務部長 市として今出来る事について実施する。また自治会単位の避難マニュアルも作成する。
問 人形会館の避難所としての機能は。
教育部長 1000人収容できる。
問 津波想定が2倍の場合は。
教育部長 屋上の490㎡で対応する。
問 建設中止との声もあるが。
教育部長 平時時は文化交流施設、災害時は一次避難所の位置づけであり中止の

考えはない。
問 福良の市営住宅は計画の位置で変更しないのか。
都市整備部長 福良地区の希望もあり、計画通りの位置で進める。
問 海岸から近いが心配ないのか。
市長 南三陸町の町営住宅と同じ一階部分が吹き抜けになっており、更に高い所へ避難できるように、さくら苑への渡り廊下を設計に追加している。



岩手県陸前高田市で津波に耐え抜いた一本松

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員



将来起こる南海地震・津波を「想定外」などと言わないよう!

問 国や地方自治体の防災対策が甘かったのでは。
総務部長 危機管理については十分に、最悪の事態を考えて対応。
問 南あわじ市の防災計画の見直し、いつ出来るか。
総務部長 中央防災会議や県防災計画の見直しが今年度末提出、その後になる。

たのでは。
総務部長 危機管理については十分に、最悪の事態を考えて対応。
問 南あわじ市の防災計画の見直し、いつ出来るか。
総務部長 中央防災会議や県防災計画の見直しが今年度末提出、その後になる。

市長 安政なり宝永と聞いた。
問 津波対策に自主防災組織の充実、実践的防災訓練が必要不可欠。防災リーダーの現状は。
総務部長 現在、12名が受講中。
地元業者で住宅新築や改修に補助を!
問 あわじ環境未来島構想、2050年に自然エネルギー自給率100%にする。可能ですか。
市長 なかなか至難の業かな。
問 新規住宅、また自然エネルギーに改修する家庭に地域振興券の補助金を出せないのか。
市長公室長 国の政策で考えて頂きたい。



防災訓練で福良湾の防潮扉を閉める住民の方々

問 河田先生が福良で昔の文献に「津波で八幡さんまで逃げたが、まだ危ないのだから山へ逃げた」と言っています。市長は聞いていますか。



ゆづるはクラブ 原口 育大 議員

分庁舎跡地利活用

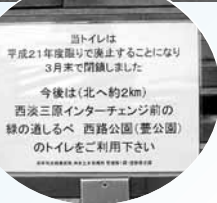
問 庁内組織の分科会の議論に、学識経験なり参考人として地元を参考人として、庁内と地元の協議会を融合させた協議の場もつくるべきだと思いが。
市長公室長 新庁舎建設・市民交流センターの開設・跡地利用は全庁舎「丸」となっていく。また一方では、地元の意見も必ず参考にしなから決定していく。職員と地元との協議、それから専門家による指導も考える必要がある。

賀集公園トイレの再開を
問 県がせっかく整備したものを閉めておくのはもったいない。一から造ると大変な予算がかかる。県に金がないなら、市の予算で管理する考えはないか。
市長 県も花トイレとして整備したのに、閉めておくのは残念。県民局等に「おかしいやないか」と強く要望したが「方針や」ということでした。

耕作放棄地対策
問 サラリーマン農業だと、平地でも住宅隣接地など利便性の悪いところは放棄地になっている。こういうところを、その周辺の住宅に住んでいる人とか、非農家の人に農園として貸せば良いと思うがどうか。
農業委員会事務局長 希望があれば、国の補助で支援できる。



兵庫県が開鎖した賀集公園のトイレ



ゆづるはクラブ 柏木 剛 議員



行政姿勢について

問 市は市民の意見を広く聞く努力をしているか、市民の意見を市政に生かそうとしているか。
総務部長 常に意識している。意見箱を設置したり、地域へ出向いたりしている

が、まだまだ十分ではないと思う。広くご意見を拝聴する場面を多くしていかねばと思っている。
問 検討会、審議会の公募制は。
市長公室長 公募が原則。臨機応変に対応したい。
問 行政懇談会、行政報告会を地元職員で定期的に行うことは。
産業振興部長 500数十人の職員が普段から地元に出ているので、いろいろなことができると思ってい

疑問を持っている市民が多い、もつと積極的に地域に出向き説明会を持てば。
財務部長 広報紙でもわかりやすく掲載しているが、仕組みが難しく理解しにくいのが現状と思う。今後わかりやすいという部分に努力していきたい。
問 職員は市民に信頼されているか、職員は南あわじ市のために一生懸命尽くしているか。
総務部長 市民の職員を見る姿勢は非常に厳しいものがある。市民に身近な職員であるような取り組みをしていきたい。
問 市民の要望には最後まで誠意をもって解決するという姿勢を望む。



各庁舎に設置されている意見箱

問 税金の無駄遣いが減っているか、収入不足に対応して財政のスタビリティに努めているか、これらについて





正道・無所属クラブ 楠 和廣 議員

慶野海岸侵食防止事業計画の見通し状況は

都市整備部長 24年度に事業着手し、26年度事業完成です。

慶野松原全体の樹木の状況は。教育部長 昨年のも暑と松くい被害がかさなり、一部松が赤い現象があり、地上防除を行っています。

松帆地区低地対策住民会議との事業計画検討会について



松くい虫防除の地上散布(慶野松原)

都市整備部長 三原川・大原川・日川・倭文川、入貫、孫太、倭文排水機場6つの部会を立ち上げたいと思っております。

の進捗見通しは。都市整備部長 今年度着手、25年度に橋の完成計画です。三原川河口左岸整備事業の進捗見通しは。都市整備部長 三原川水系整備計画の優先順位によって進めて参ります。高料金(2大橋通行料金)軽減化無料化運動活動について

市長公室長 時間帯割引については一般道の通勤時間帯の渋滞緩和、沿道環境保全等の効果があり、継続要望して参ります。

市長 被災地の早期復興復旧は当然ですが、淡路3市で行動を共にすべきと思っています。



日本共産党 蛭子 智彦 議員

津波災害死者ゼロのために災害弱者への対応を

南あわじ市では、災害時に一人で逃げられない災害時要援護者(災害弱者)は、何人いますか。総務部長 9333人で、その内登録者



南海地震を想定した津波動画(南淡庁舎前)(南あわじ市ホームページから)

は、2557人。登録率は27.6%です。現状は大変不十分です。台帳登録しても、その避難方法などがはつきりしている方はほとんどいません。マニュアルでは、健康福祉部長を責任者にして、総務部長が責任者になって、力を挙げるようになっていますが、どのような対応でしたか。総務部長 防災課と長寿福祉課での対応です。

の認識がなく、対策会議が一度も開かれていないことが明らかになりました。これまで「防災課と長寿福祉課の部分での打ち合わせ」での対応をしてきたことですが、9千人を超える対象者に対して、二つの課で行うには荷が重く、抜本的な改善を求めました。

国保税値下げせず

市長は、昨年9月議会で、国保税の値下げ対応を表明しましたが、2億円の剰余金を基金に積み立て、値下げをしませんでした。約束違反だと指摘しました。また、他に慶野松原の振興策も質問しました。



市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

指定管理者制度について

指定管理者制度とは。

市長公室長 多様化、高度化する市民ニーズに効率的に対応するため、公の施設の指定管理に民間活力を導入し、質の高いサービスの提供、経費の節減を図る目的とした制度。

指定管理している施設数は。

市長公室長 108の施設。

指定管理料を支払っている施設。使用料を納入して頂いている施設数は。

市長公室長 指定管



指定管理者制度を導入している淡路ファームパークイングランドの丘

理料を支払っている施設39、施設使用料を頂いているのは8の施設。

指定管理者制度は雇用の機会を与え民間活力の導入のため、必要な制度であると思うが、各施設の運営、経費も大事であるが設立当初の目的を果たすことが大前提であり、サービスの低下があってはならない。

とありますが、各施設の運営、経費も大事であるが設立当初の目的を果たすことが大前提であり、サービスの低下があってはならない。



ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員

災害に強い町づくりに向けて

自主防災組織のあり方について。総務部長 防災力を高めていくため、将来、地域交流センターとの密接な連携も必要だ。

「個人情報保護法」が災害対応の障害になっているのでは? 総務部長 法では「取扱業者」は5千件が基準となっている。とは言え、身近な情報も扱いには慎重であるべき。

リーダー養成の観点からも、公務員は地元でも積極的に関わっていくべきで



避難訓練

は。総務部長 当然だ。積極的に関わってほしい。

自主防災組織の活動が活発化する策は。総務部長 活動の継続化が課題。参考となる資料をどしどし提供していく。

防災訓練のあり方は。総務部長 実践的な避難訓練が必要だ。自治会単位での一次避難所を見直し、住民あげて全員が避難できる訓練を繰り返していく必要がある。

防災については、日常的なまちづくりとも関係してくる。様々な形での「声かけ運動」が必要ではないか。総務部長 「共助」の質をあげていく必要がある。市民交流センターでも課題にしてほしいと思う。

各学校の防災計画に変化はあるか。教育部長 各地域の自主防災組織との連携が焦眉の課題となっている。また大津波を想定した避難場所の見直し、避難訓練の計画が進んでいる。



# 委員会レポート

議会閉会中も各委員会では、管外調査や所管事務調査などを行っています。その結果を報告します。

なお、各常任委員会と特別委員会（広報広聴特別委員会を除く）の委員会録を市のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

**■ いちき串木野市議会**  
議会報告会、財政問

**■ えびの市議会**  
政策討論会、議会報告会、委員会審査の方

法について意見交換しました。特に議員による積極的な議会活動については本市においても参考にすべきでありました。



▲視察の様子

**■ 管外調査**  
(5月26日～27日)

△東日本大震災後の対応  
▽東日本大震災後の対応  
海抜を示す看板を市内127箇所に即座に設置  
一時避難先の建物等(15m以上)の市民への啓発に努めており、住民と行政との防災会議等も頻繁に開催されている。

## 議会運営のあり方を調査

議会運営委員会

4月19日、20日と宮崎県えびの市及び鹿児島県いちき串木野市にて視察調査を行いました。参加者は委員5名と議長、事務局2名。

調査事項は、委員会運営、特に、議員間の自由討議、付託案件の審査方法、所管事務調査のあり方、議会報告会、議会だよりでの議案に対する賛否公表等について。視察先では双方の議員による活発な意見交換が行われました。

今回の視察のまとめとして、委員会のこれまでのあり方を見直し、特に閉会中の委員会の調査のあり方や、議員間の討議を十分に行うこと等議会改革の一つとしての具体的な目標が出来ました。

**■ 所管事務調査**  
(4月25日)

△視察先 静岡県浜松市議会、掛川市議会  
▽災害時要援護者避難支援計画「自助・共助(近助)・公助」をうたい、近所・自治会・自主防災会等、誰が誰の安否確認を行うかという詳細計画(個人台帳の作成・訓練等)が策定されている。

△地震対策アクションプラン 市民個々レベルの支援としては住宅耐震診断無料。家具の転倒防止器具取付の助成、介護用ベッドの防護フレーム、人工呼吸用の非常電源装置の購入助成等のきめ細やかなものであった。



公明党 熊田 司 議員

### 防災対策について

**問** 防災課の独立・拡充に対する市長の考えは。

**市長** まだ、内部協議はしていないが、能力のある人材の登用・課の拡充については検討すべきことと思っている。

**問** 高齢者世帯・障害のある方に対する家具の転倒防止工事費を市で負担する考えはないか。

**総務部長** 家具の転倒防止については、広報やホームページで啓発している。ただ、他市での実施状況を調べてから、当市でも適用できるかどうか研究していきたい。

### 南あわじ市の節電対策について

**問** 当市の節電に対する取組について。

**財務部長** 平成20年度には、地球温暖化対策国民運動に参加し、冷暖房の温度

設定・グリーンカーテンの実施・消灯の実施をしてきた。平成22年度には、平成17年度に比べ、26%の電力・電気量の削減をしている。今後の対応として、職員の健康を考えながら、グリーンカーテンの場所の増加、扇風機の利用、時間外労働の削減等により15%削減に努めていきたい。



▲節電対策にグリーンカーテン（三原公民館）



ゆづりはクラブ 出田 裕重 議員

### 「ふるさと納税」寄附状況は？

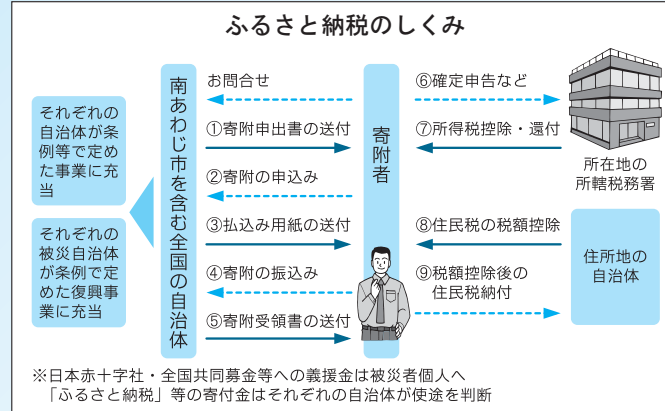
**市長** 多くの方の温かいお気持ちで、人形会館建設の目標額を突破できた。次なる取り組みが必要。例えば子供たちに希望と夢が持てるようなこと、高齢福祉の問題もある。

**問** 今後、市外からどうやってご寄附をいただくか。

**市長公室長** 他の自治体と差別化できるような用途、地元特産物の送付等についてもあわせて検討する必要がある。

**健康福祉部長** 保育所、老人ホーム等も今後は地震・津波を想定しての避難訓練を実施していきたい。

**市長** 「市民の命を守ること」は行政の役割であり責務。実践的な避難訓練で、体で、頭でしみ込ませておくということが大事。そのためには行政も、可能な限り、積極的に取り組む。



**問** 人から人への思いが直接伝わるような具体的な寄附項目を設定すべき。また、困難であり非常時の今は「ふるさと納税」で東北地方の自治体へ



教育委員会の取り組みは？  
文教厚生常任委員会

■管外調査

(5月17日・18日)

▽愛媛県四国中央市

教育委員会会議録インターネット公開について、校庭、園庭など芝生化事業について

▽香川県丸亀市

小・中一貫教育について

■所管事務調査

(4月26日)

新しい教育長として今の教育委員会のあり方なり、今後の取り組みについての考え方は。

■教育委員会として

なすべきことをしっかりと整理して対応していきたい。

■国や県、市などが

それぞれ行っている福祉事業について、体系立てた資料を作りたい。

■少子対策事業、障

害者福祉については作成済みだが、他は作成していないので、そういったことはしておくべきかと感じます。  
社会教育施設料金の軽減について、教育委員会で一たん決めたことを、請願が出されたら採択されたから、急遽それをひっくり返した。  
ありがたいことですが、教育委員会の信念はどこにあるかなと思う。  
今の状況、実態を精査すると、やはり少しでも経費負担を軽減してあげるほうが良いというに至った。  
22年分確定申告において電子申告の状況は。  
申告件数は島内で3万1500件弱。このうち電子申告は約1万2000件。前年度比約500件増。

東日本大震災による農業、観光への影響は？  
産業建設常任委員会

■所管事務調査

▽4月22日

東日本大震災の風評被害の影響による観光客の減少  
福良中間育成いけすの津波被害の復旧、対策  
被災地支援のメガフロート利用  
鳥獣被害対策の予算と現況  
農業委員会委員の改選についての報告  
震災に便乗した詐欺行為の対策  
三原川水系の整備計画  
画リフレットの配布  
塩屋川水系の整備  
地震による下水道事業の影響

▽5月23日

農業共済事業の加入資格  
地震による野菜の風評被害

遊休農地、耕作放棄農地の利用  
「淡路島たまねぎ」地域団体商標登録  
地震の影響による移転企業の誘致  
イングリッドの丘の裁判の経過  
下水道管敷設に関する借地等  
指定管理の施設使用料  
ゴールデンウィークの観光客数の報告  
5月13日口蹄疫感染の疑いの家畜発生の結果及び対策報告  
6月22日  
福良の市営住宅建設  
ため池の防災減災対策、改修  
農作物の放射能汚染  
農地・水保全管理支払交付金  
下水道事業第二次中期経営計画の概要

議会のあり方を調査研究  
議会改革特別委員会

5月12日

▽議長より委員構成の変更についての報告

4月22日付けで印部久信委員、砂田泉洋委員、蓮池洋美委員の辞任を許可。5月2日付けで川上命委員、柏木剛委員を選任。

▽委員会構成

久米委員、熊田副委員長、廣内委員、原口委員、柏木委員、川上委員、蛭子委員、森上委員

▽協議内容

議会基本条例制定までのスケジュールをまとめた工程表(案)。委員会のあり方、議案に対する対応の公表の試行(案)について。

6月29日

▽協議内容

議会基本条例平成24年6月議会での制定を目標とした工程表(案)委員会のあり方

7月6日

▽協議事項

議会基本条例先進地の議会基本条例の読み合わせを行った。会津若松市、松本市。委員会のあり方継続審議とする。  
対応の公表継続審議とする。

新庁舎建設の進捗は？  
庁舎建設特別委員会

7月4日に委員会を開催し、平成26年度末開庁の新庁舎について、市民交流センターについて市の取り組みの説明を受け、質問・要望等をおこなった。

新庁舎基本設計案の概要は。  
6つのコンセプト。  
誰かが車で来やすい庁舎  
来庁舎の駐車場を中心とした庁舎の配置。  
またタクシーやコミュニティバスの停留所を中央に集約した。  
2分かりやすい施設構成  
来庁者の多い、市民の生活に密着した市民窓口を1階に集約。来庁者が限定される事業部は2階。3階は企画、総務部。4階は、議会

■新庁舎建設

新庁舎基本設計案の概要は。

■誰かが車で来やすい庁舎

来庁者の多い、市民の生活に密着した市民窓口を1階に集約。来庁者が限定される事業部は2階。3階は企画、総務部。4階は、議会

■環境共生型の庁舎

3階に災害対策本部となる大会議室を設置し、情報通信インフラも集約。災害発生時の

迅速な情報把握と情報共有に努められる。  
⑥南あわじらしい庁舎

庁舎や外構の各所に淡路瓦を利用。屋根だけでなく壁面、床、舗装などにも活用する。  
これに対し委員から、議場の配置図について、市役所の土日開庁について、災害時への対応や、障害者・高齢者への対応などについて質問・要望がありました。

■市民交流センター

進捗現状は。

市内21か所に市民交流センターを設置するため、7月から順次、21地域で説明会を開く。

議会活動日誌

4月5日6月の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

4月

- 6日 東播・淡路市議会議長会事務局局長(議長)
- 8日 戦没者追悼式(全議員)
- 11日 議会広報広聴特別委員会
- 12日 南あわじ市・洲本市小学校組合議会臨時会
- 13日 近畿市議会議長会定期総会(議長)
- 13日 東播・淡路市議会議長会定例会(正副議長)
- 15日 議会広報広聴特別委員会
- 16日 議会広報広聴特別委員会(議長)
- 19日 商工会青年部通常総会議長
- 19日 議会運営委員会視察研修
- 21日 ゲートボール市民大会議長
- 22日 議会運営委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 23日 老人クラブ連合会三原支部総会(議長)
- 24日 花づくり協議会総会(議長)
- 25日 総務常任委員会
- 26日 宮城東南三陸町被災地訪問及び救援物資輸送出発式(全議員)
- 27日 文教厚生常任委員会
- 27日 庁舎建設特別委員会
- 27日 議員協議会
- 27日 いずみ会総会(議長)

5月

- 3日 老人クラブ連合会総会議長
- 6日 淡路広域水道企業団例会出納検査
- 12日 議会改革特別委員会
- 12日 健康大学講義開講式(議長)
- 13日 小野市議会正副議長就任挨拶来庁
- 14日 連合自治会総会(議長)
- 15日 体育協会定期総会(議長)
- 17日 南あわじ直販フェア(全議員)
- 17日 食糧衛生協会通常総会副議長
- 17日 食糧衛生協会通常総会副議長
- 17日 文教科厚生常任委員会視察研修
- 18日 老人大学どおり学園開講式(副議長)
- 20日 兵庫県功労者表彰
- 20日 老人クラブ連合会親善クランゴウ大会(議長)
- 22日 消防操法大会「南淡予選会」(議長、南淡地域議員)
- 22日 読書「子まつり」(文教厚生常任委員長)
- 22日 生常任委員長
- 22日 ケーブルネットワーク淡路開局10周年記念式典及びCNAのど自慢大会全議員
- 23日 産業建設常任委員会
- 23日 産業建設常任委員会
- 24日 鯉供養祭(議長)
- 24日 商工会通常総代会(議長)
- 25日 産業建設常任委員長
- 25日 兵庫県市議会議長会総会(正副議長)
- 26日 洲本市・南あわじ市衛生事務組合議会臨時会

6月

- 26日 淡路瓦工業組合通常総会(副議長、産業建設常任委員長)
- 27日 総務常任委員会視察研修
- 27日 人権教育研究協議会総会(副議長)
- 28日 老人大学うすしお学園開講式(議長)
- 30日 連合PTA総会(議長)
- 30日 議会運営委員会
- 30日 シルバー人材センター通常総会(議長)
- 2日 議会運営委員会
- 5日 消防操法大会「三原予選会」(三原地域議員)
- 6日 議会定例会(第1日目)
- 8日 淡路広域水道企業団例会出納検査
- 10日 議会定例会(第2日目)
- 13日 議会定例会(第3日目)
- 15日 全国市議会議長会定期総会(議長)
- 17日 青少年問題協議会(文教厚生常任委員長)
- 20日 総務常任委員会
- 21日 文教厚生常任委員会、教育委員会委員との懇談会
- 22日 産業建設常任委員会
- 24日 議会定例会(第4日目)
- 26日 伊豆うすしお村海水浴場海びらき(議長、産業建設常任委員)
- 27日 淡路広域水道企業団決算監査
- 28日 藍野東郷町議会会議運営委員会視察受入
- 29日 議会改革特別委員会
- 30日 文化団体連絡協議会総会(議長)



# 第39回南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会：午前9時30分～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	8月29日(月)	1.各常任委員会調査報告 2.平成22年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定（説明、質疑、委員会付託） 3.条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4.平成23年度南あわじ市一般会計、特別会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 5.その他の案件上程（説明、質疑、一部討論・表決、委員会付託）
予備日	8月30日(火)	
第2日	9月5日(月)	1.一般質問
第3日	9月7日(水)	1.一般質問
第4日	9月8日(木)	1.一般質問 2.追加議案上程（説明、質疑、一部討論・表決、委員会付託）
予備日	9月9日(金)	
第5日	9月27日(火)	1.追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



◆開会：午前9時～

	会議日	会議内容
委員会	総務常任委員会	9月20日(火)
	文教厚生常任委員会	9月22日(木)
	産業建設常任委員会	9月21日(水)

※22年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月12日(月)・13日(火)・14日(水)・15日(木)で調整を行う予定です。

## 開会時刻を早めています

南あわじ市議会では、**節電対策**として、平日ピーク時(13時～16時)における電力使用量を軽減するため、7月～9月まで会議の開始時刻を早めております。そのため、**本会議は午前9時30分から、委員会は午前9時から**開会します。

## インターネット放送を拡大

### 一般質問の録画放送をスタート

★さんさんネットで放送された6月定例会の一般質問を録画配信しています。ご覧ください。

### インターネット中継（生放送）

★インターネットで議会ライブ中継（生放送）を行っています。本会議と常任委員会、特別委員会（広報広聴特別委員会を除く）を放送しています。会議時間中のみ放送しています。



南あわじ市ホームページ「議会情報」をクリック

↓  
「インターネット中継」  
「録画配信」をクリック

## 編集後記

私たち南あわじ市が誕生して7年、議会として定例会毎に発行して参りました議会だよりも今回で28号の発行をかさねました。広報活動の重要性を基本に議会・行政全般にわかりやすく理解しやすい紙面の創作に委員一同取り組んでおります。また、開かれた議会、住民目線での姿勢のもとに議会報告会、インターネット中継、録画配信、定例会など日程案内、議会改革特別委員会設置等、住民皆様方の意見要望への事業取り組みを展開しているところでもあります。

また最近、議会、委員会への傍聴者が増加傾向にあり、住民の方々の意識関心の高さが私たちの議員活動への取り組みに大きくかわり、議会の活性化発展につながるものと思えます。

今回、議会だよりに対して初めてのアンケート調査を行うことになりました。一人でも多くの方々の協力をお願いいたします。

(楠)